

東京都立水元小合学園

令和7年2月21日（通算123号）

東京都立水元小合学園 校長 米谷 一雄

SNS

随時更新中



コミュニケーション能力

校長 米谷 一雄

今年度も残すところ1カ月となりました。月日の経つのは早いものです。時間の感じ方は、人によって違いはあります。楽しい時間や好きなことに費やす時間は短く感じ、見通しがもてなかったり、苦手なことの時間は長くも感じます。時間そのものは、誰にも平等に与えられていますので、あとは、どのように受け止めるかです。無駄と思われていても、先々、そのことが貴重な時間であったと振り返ることは多々あります。何事も考え方や捉え方次第です。

【コミュニケーション能力】

コミュニケーション能力とは、対人関係においてお互いの考えや意見を伝えていくための能力を指します。コミュニケーション能力は、児童・生徒のみならず、大人にとっても非常に大切なものです。学校や職場、家庭内において気持ちよく過ごすことにつながります。自分の気持ちや考えを相手に伝えたり、または、相手からの気持ちや考えを受け止めたり、どのように伝え、どのように受け入れていくか、文章に書くのは簡単です。しかし、これができないためにトラブルや誤解の原因となり、関係性がぎくしゃくもします。

コミュニケーションが上手く取れない要因に、失敗や嫌な思いの経験から人と話をすることが怖くなるというケースもあります。そのような人が周りにいて相談されたら、みなさんなら、どうしますか。まずは、自分に置き換えて、どのようにしてもらえると安心するかを考え、提案してみてください。「私ならこうしてもらえるとうれしいけど、あなたは、どうしてもらえるとうれしい？」と。温かい会話の積み重ねが、一歩踏み出す勇気や人と人との関係性に結び付くと私は思います。

全国公開研究会を実施いたしました！

学校経営担当副校長 川俣 幸子

2月14日（金）に「ICT機器を活用した授業実践～一人1台端末やATなどの有効活用～」と題して、全国公開研究会を行いました。この研究は、令和5年度より2年計画で取り組んできました。就業技術科は、職業に関する専門教科の4コース、肢体不自由教育部門は教育課程を基に5グループに分かれて、研究を重ね、両部門ともに、外部専門家の一般社団法人SOZO.Perspective代表理事 海老沢 穰様より、ICTに関する御指導をいただきました。また、当日は、文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 加藤 宏昭様、国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 吉川 知夫様、東京都東部学校経営支援センター 学校経営支援主事 本橋 めぐみ様より、御助言や実践事例についての御紹介がありました。本校の教職員だけでなく、外部からは、特別支援学校の教員だけでなく、小学校、中学校、高等学校の先生方、大学の教授、一般企業の方など様々な職種の方が、北は秋田県、南は沖縄県より、約70名の方が参加され、お互いに研究を深める良い機会となりました。

後日、教員が作成した一人一実践ポスターを本校のホームページに掲載いたしますので、御覧ください。

肢体不自由教育部門

高等部3年生より

高等部3学年主任 林 悠太郎

卒業まであとわずかとなり、生徒たちは毎日教室で日めくりカレンダーをめぐっています。今年度は社会見学で東京都現代美術館に行ったり、卒業遠足でディズニーランドに行ったりしました。校外学習で新しいものを目にしては新鮮な表情や反応を見せてくれる生徒たちを見るにつけ、私たち教職員も、生活の中のあらゆる場面に学びがあるのだということに改めて気づかされました。学習発表会では、高等部3年生は主役として多くの場面に出演し、日々の学習の成果を十分に発表することができました。舞台の上という、日常生活の中ではなかなか経験できない衆人環視の状況でも堂々と発表する3年生の姿を見て、後輩たちもきっと励まされたと思います。

いよいよ卒業です。進路先も決定し、3人とも今までいた環境から大きく変わり新しい人生が始まります。水元小合学園で学んだことを大いに活かして、楽しく生活していってくれることを祈っています。残り一か月、日々楽しく充実させていきます。

就業技術科

一年間を振り返って

学科主幹 佐野 賢吉

令和5年5月に新型コロナウイルスが2類から5類に移行し、学校行事はコロナ禍前の状態に戻りました。10周年記念式典に向けて、生徒会が中心となり準備を進め、当日を迎えました。式典ではたくさんの方にお祝いの言葉をいただきました。周年行事生徒実行委員会の取り組みは東京都教育委員会より表彰されました。学校はこれまでの10年を振り返り、今後の10年の基盤を築くために努力しています。

全学年のとうきょうオリエンテーション（遠足）、1年生は日光方面への移動教室、2年生は大阪方面への修学旅行、自主的に計画し、参加する場面がありました。仲間との絆づくり、思い出作りになったかと思います。今年の夏は記録的な暑さで、プールが使用できない日もありました。新しいグラウンドでの活動も制限されましたが、室内での活動を頑張りました。

全学年に一人1台端末が配備され、これからは生徒が主体的に対話し、深い学びにつなげる活用が期待されています。

今年度の学習活動も残り僅かです。年度のまとめと次年度への準備を頑張りましょう。